

核融合科学研究所における「放射性同位元素等の承認使用に係る  
変更承認申請」について

令和3年6月23日  
核融合科学研究所

核融合科学研究所では、核融合工学研究の進展を踏まえて、総合工学実験棟に設置した放射線発生装置（ファン・デ・グラーフ型加速装置）に関して、放射性同位元素等の規制に関する法律（以下「R I 規制法」）の規定に基づき、6月22日付けで原子力規制委員会へ変更承認申請を行いましたので、お知らせします。

研究所では、大型ヘリカル装置（LHD）による実験研究等と併せて大学の核融合工学研究の中核として、将来の核融合炉を目指したブランケット及び超伝導コイルシステムの開発をはじめとする炉設計の高度化研究を進めています。

核融合炉材料開発のためには、材料表面の構造解析が必要です。研究所では、この解析を大学等の共同研究者とともに、LHDのある大型ヘリカル実験棟から離れた総合工学実験棟に設置のファン・デ・グラーフ型加速装置を用いて行っています。

同装置について、より高精度な解析を行うべく、分析用材料試料を設置する実験チャンバー1台を新たに増設する変更を予定しています。ファン・デ・グラーフ型加速装置はR I 規制法の放射線発生装置として規定されているため、今回この変更にあたり法令に基づき申請を行うものです。

なお、同装置は、LHD及び重水素実験には直接関係せず、また、申請に伴って、研究所の敷地境界線量（50  $\mu$ Sv/年）に変更はありません。

[本件のお問い合わせ先]

自然科学研究機構 核融合科学研究所  
大型ヘリカル装置計画 実験統括主幹  
長壁 正樹

TEL : 0572-58-2222